

厚生・産業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成 25 年 11 月 26 日（火）

2 調査の概要

（1）県立総合保健専門学校（守山市守山五丁目）

同校は、「人々のニーズを的確に捉え、人間尊重を基盤とした看護を迫及し、実践できる専門職業人を育成すること」を教育理念に、また「学生に対し看護師または歯科衛生士として必要な知識および技術を教授し、社会に貢献しうる有能な人材を育成すること」を教育目的として学校教育を行っており、この 10 月 1 日現在で、看護学科と歯科衛生学科を併せて、合計 364 名の学生が勉学に励んでいる。

一方、超高齢社会の到来によって、全国的に看護師不足が深刻化しているが、本県においても同様に、保健医療福祉分野における看護師不足が大きな問題となっており、看護師の確保は喫緊の課題となっている。

こうしたことから、同校の施設の概要や看護学科における教育の現状等について調査するとともに、看護学科学生の皆さんと「学生生活の現状について」をテーマに県民参画委員会を実施し、意見交換を行った。

学生の皆さんからは、看護師という職業を選ぼうと思った動機や学生生活全般における感想などについて、積極的に発言がなされた。



（2）県立近江学園（湖南市東寺四丁目）

今年度は、日本の「障害福祉の父」と言われる故糸賀一雄氏の生誕 100 年を来年 3 月 29 日に迎えるにあたり、糸賀氏の実践や理念を今日の社会に生かし、未来に引き継いでいくため、民間団体と県の協働により、「糸賀一雄生誕 100 年記念事業」が実施されている。

一方、同学園は、糸賀氏らによって設立された県立の児童福祉施設であり、「この子らを世の光に」の糸賀精神に基づき、障害のある子ども一人ひとりの発達保障や自己実現に向けた取り組みを実施するとともに、障害のある人たちが、地域で安心して暮らせ

るよう、家庭や関係機関と連携した取り組みを推進している。
については、同施設の概要等について調査を行った。

